大学において
OA/OSを推進する意義

NIIオープンフォーラムAXIES-RDM部会合同セッション
「研究データポリシー策定の次の一手を考える」
2025年6月5日

国立情報学研究所　船守美穂

第6期科学技術・イノベーション基本計画 (2021)
…(2)新たな研究システムの構築
（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進）

【数値目標】

- 機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、2025 年までに、データポリシーの策定率が100%になる。
- 公募型の研究資金の新規公募分において、2023 年度までに、データマネジメントプラン（DMP）及びこれと連動したメタデータの付与を行う仕組みの導入率が 100%になる。

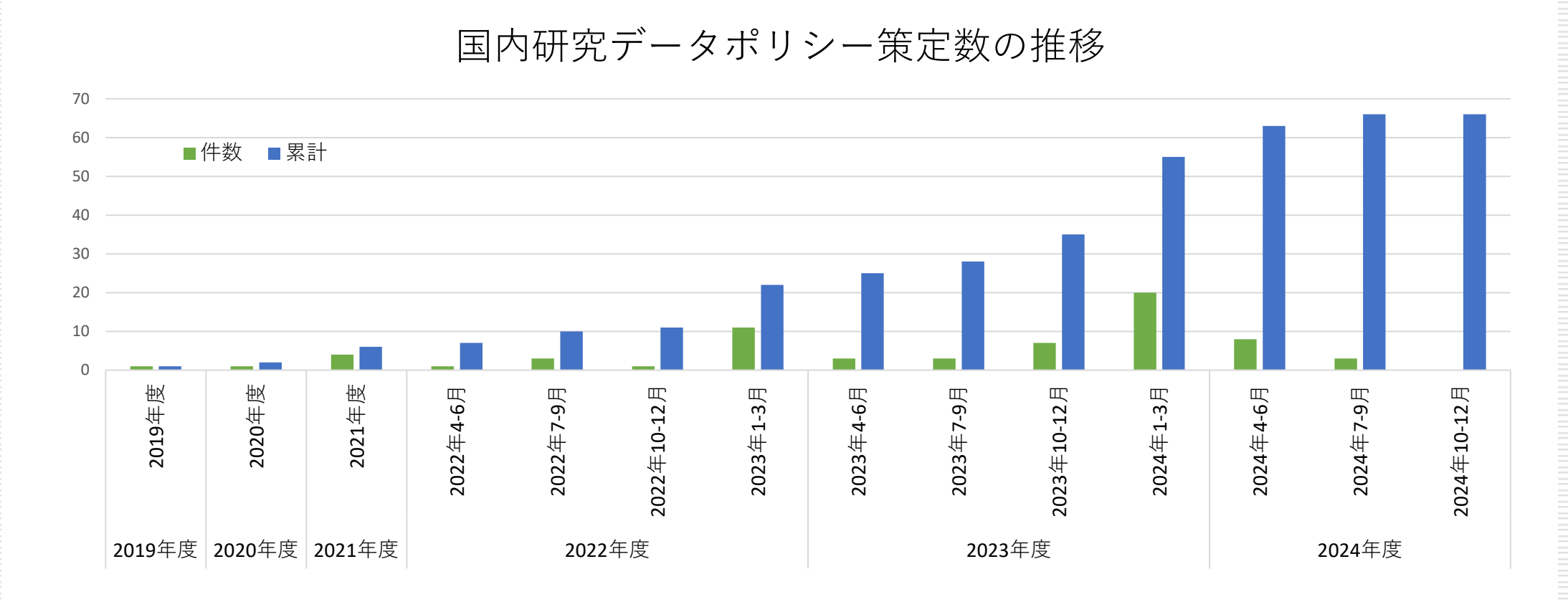
■ 関連文書

統合イノベーション戦略推進会議 （令和 3 年 4 月 27 日）
「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」
https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kokusaiopen/sanko1.pdf

Source: 第6期科学技術・イノベーション基本計画
https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf

先行大学の研究データポリシーの推移（2024.8現在）

124大学が
研究データポリシーを
策定（2025.6現在）



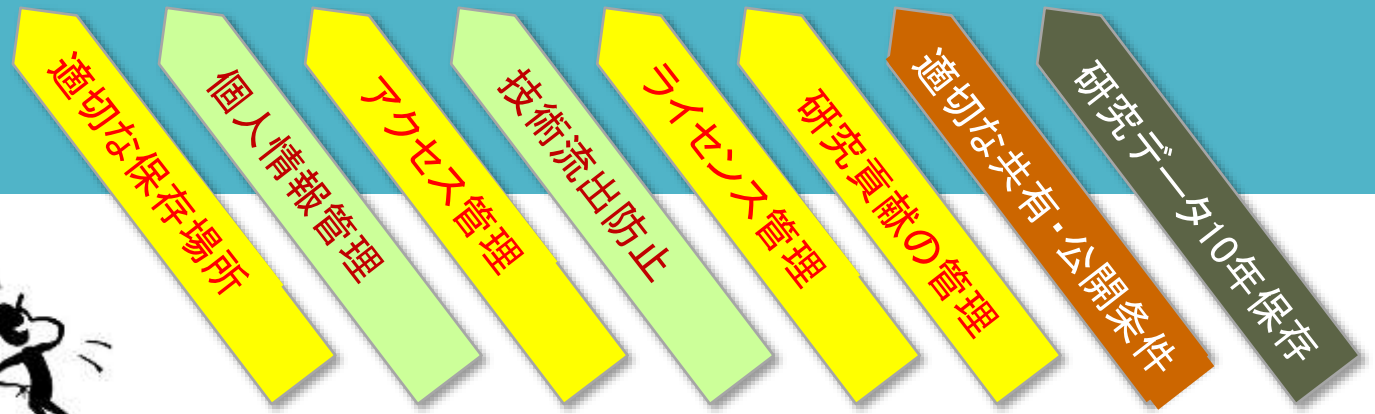
https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/project/%E5%9B%BD%E5%86%85%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC%E4%B8%80%E8%A6%A7

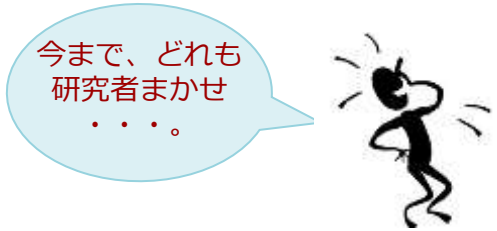
国内大学の研究データポリシー（エッセンス）

- （前文）大学にとっての学術と研究データの重要性
- 研究者の責務
  - 研究データを適切に管理
  - 可能な限り多くの研究データを共有・公開
- 機関の責務
  - 研究データ管理・公開のための環境整備
- 研究者の権利
  - 研究者が研究データの管理・公開の方法を決めることができる

今、大学に求められている研究データ管理とは？

研究データの機関管理

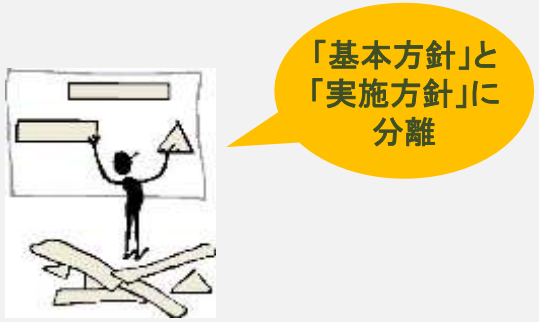




国立情報学研究所研究データ管理・公開ポリシー
～責任ある研究データの管理・公開に向けて～（試行版）

前文

I. 基本方針
1. 本ポリシーの目的
2. 用語の定義
3. 適用範囲
4. 機関が管理・公開する研究データの考え方
5. 機関における研究データ管理・公開の考え方
6. 機関と研究者の協力の原則と各自の責務



II. 研究データの管理・公開の実施方針
7. 研究データの管理・公開の実施方針の全体像
8. 研究データの管理・公開に関わる責任
9. 機関による研究データの管理・公開の推進
10. 研究データの管理・公開の枠組み
11. 研究データの管理
12. 研究データの共有・公開及び利活用への配慮
13. 組織整備研究データの機関提供と利活用の促進
14. 研究データの管理・公開のための環境整備
15. 機関における研究データの管理・公開についての体制
16. 研究者の退職・採用に関わる対応

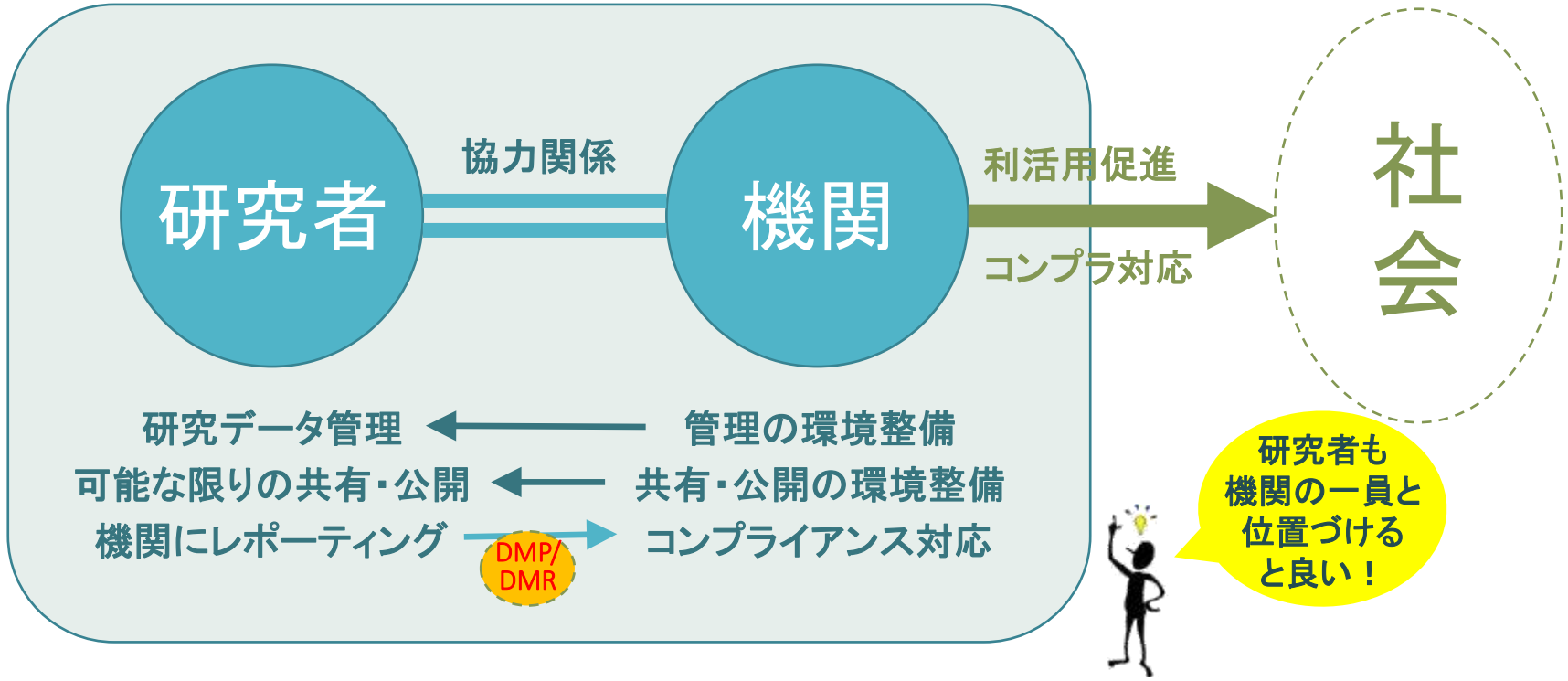
III. 雑則
17. 関連法令等
18. ポリシーの定期的見直しと試行

第6条

日本型の研究データ機関管理（イメージ）

「機関と研究者」の協力関係の上に成り立つ研究データの機関管理

第4条
第7条



- ✓ 「機関と研究者」の協力関係の上に成り立つ研究データの機関管理とすることで、米国コンプライアンス型の「機関は研究データのオーナー、研究者は管理者」という図式を回避する。
  - そもそも、無体のデータには所有権が認められないため、この考え方の方が適切。
- ✓ このイメージでは、研究者も機関の一員と位置づけるため、研究者は自分の手元に研究データを置いておくことができる。
- ✓ ただし、機関は「研究データとその管理」の実態を把握していなければならないため、研究者は機関に対して最低限のレポーティングする必要がある。また、緊急時には、研究データをすぐに提供できなければならない。

NII研究データポリシー
…5.1条 研究データの管理・公開の原則

研究データの管理・公開の原則

A　法令等及び契約の遵守、研究データに関する説明責任

B　適正な研究データの取扱い

- ①　安全管理措置
- ②　研究データ、関連情報及び関係する者に関する権利利益の保護
- ③　研究データの提供元による条件の遵守
- ④　研究課題内の研究データの保有主体等の設定と運用
- ⑤　研究データの共有・公開に係る条件の整備

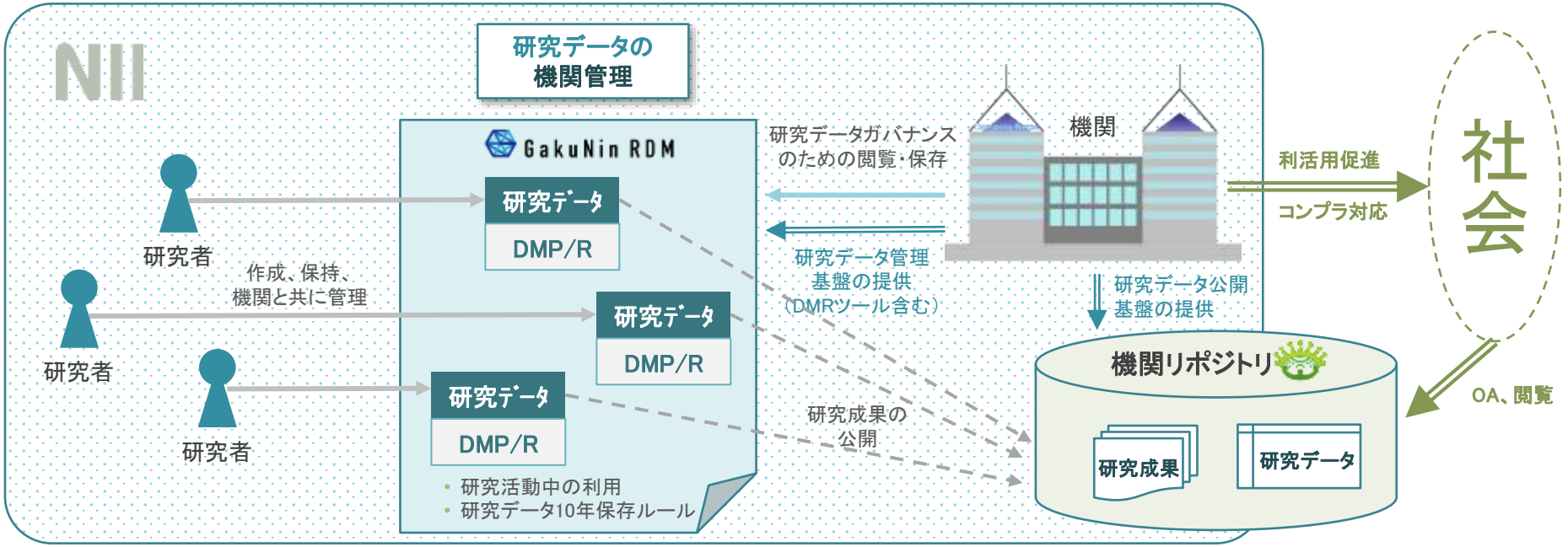
C　研究の公正及び研究の再現性への配慮

D　可能な限り多くの、長期的な研究データの共有・公開

NIIの研究データガバナンスの仕組み

研究者
- 研究データとその**管理方針・記録（DMP/R）を機関と共有**
- 研究成果と研究データを**可能な限り公開**

機関
- 研究データの機関管理と**コンプラ対応**
- 研究者の研究データの管理・公開のための**環境整備**



- 研究者が、機関提供環境以外において自身の研究データを管理・保存、共有・公開することは自由です。
- ただしその場合、（特に不慮の事態における）機関による組織的バックアップは得られず、自身で責任を持って対応する必要があります。

研究データポリシー策定の次の一手を考える

学内の研究データ管理・公開を実行に移す

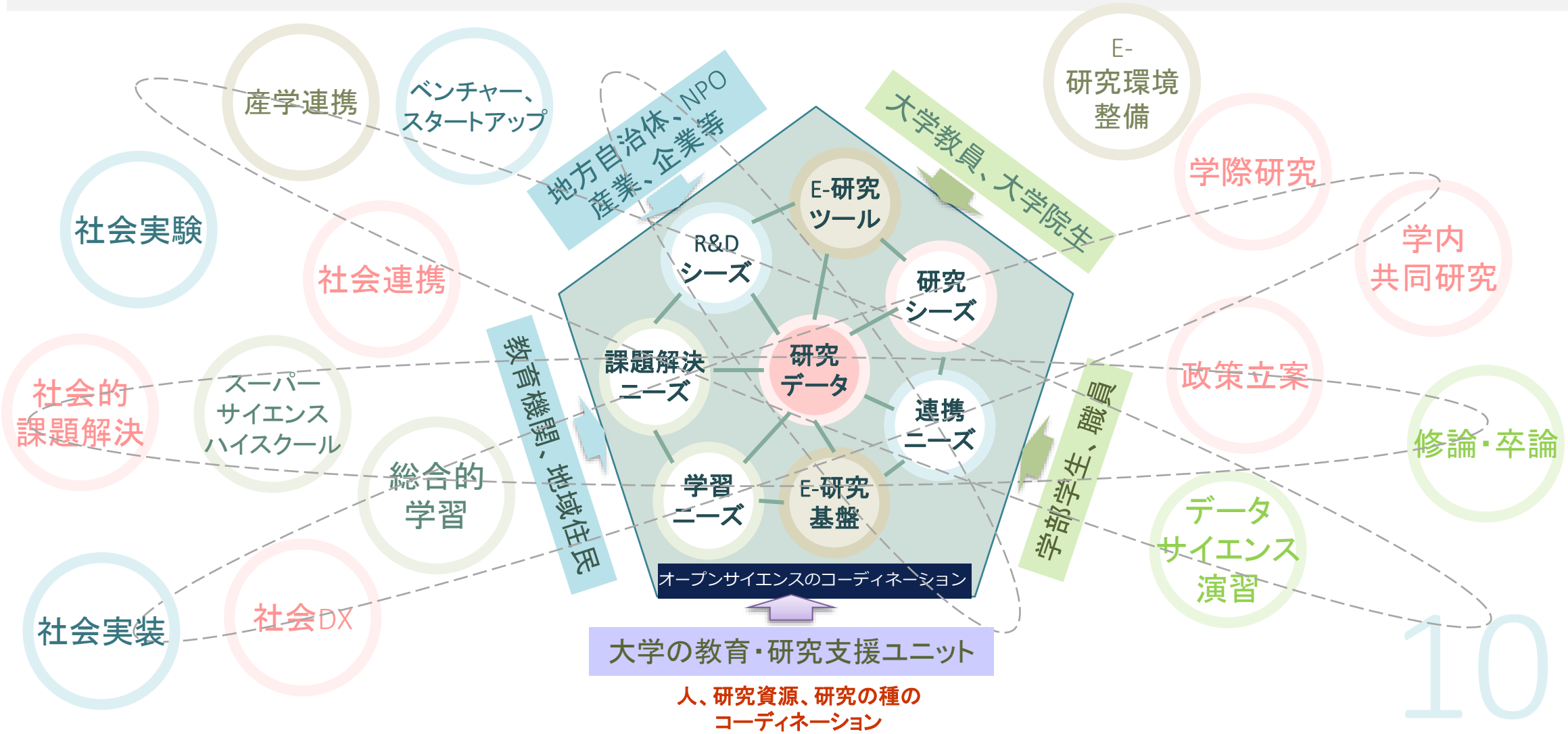
1. 名大・研究者向けガイドライン
2. 金沢大・DMP作成支援機能を持つオープンサイエンスシステム

---

3. 滋賀大・データサイエンス学系の社会連携と大学戦略

地域社会との連携・融合を図る
地方大学のオープンサイエンスモデル

各セクターからの
研究ニーズ/シーズ、研究資源、ツール等を
組み合わせて、
新たな展開を生む！

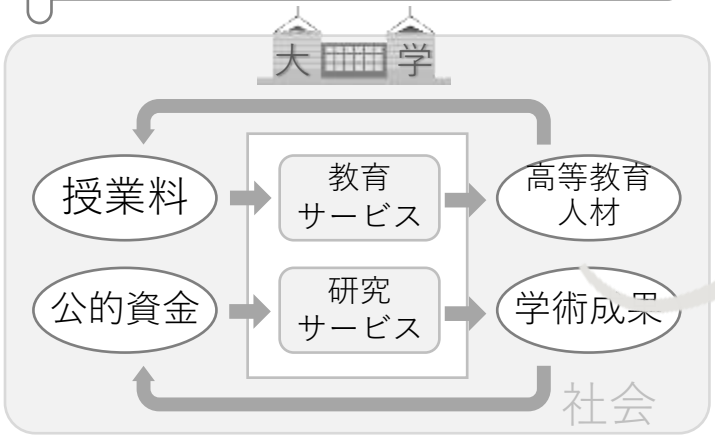


高等教育・学術の新たなパラダイムへの転換ステップ

I. 社会から隔絶された「象牙の塔」としての大学

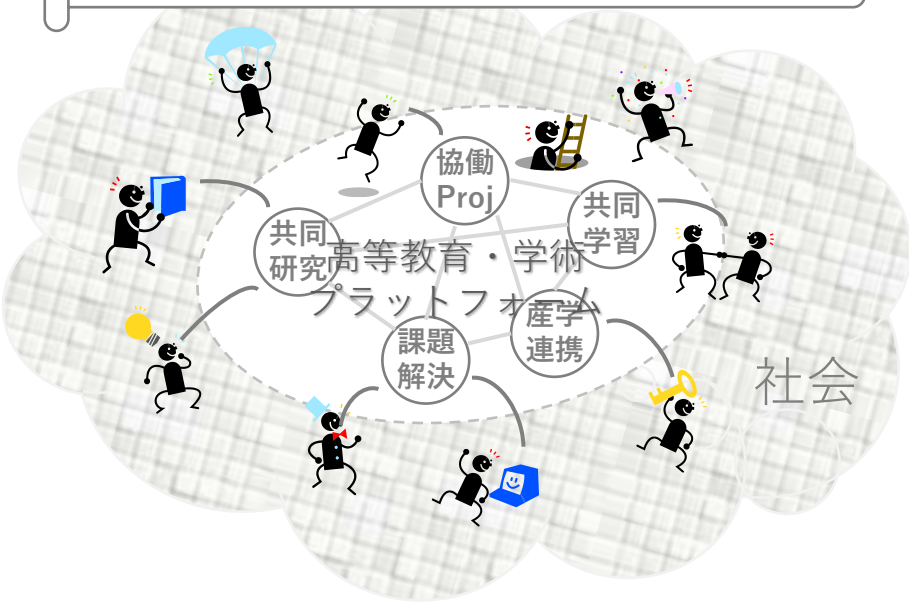
自己規律、学問の自由、
エリート、学習共同体

II. 社会の高等教育・学術装置としての大学



Value for money, 受益者負担、
説明責任・透明性、広報・アウトリーチ

III. 社会とのオープンコラボレーションにより成り立つ高等教育・学術



協働の場、ファシリテーションの提供
フレキシブルで多様な対応、社会と共に発展

（出典）博士論文 図4.8

データ等を核においた地域/学内連携の事例

金沢大学：地域包括ケアとエリアマネジメント

- S市より住民の健康関連データ（3種類）の提供。地域包括ケアの将来計画のための分析を要望。
- 金沢大学にて、4部局20名以上の研究者が関心を示し、チームでデータ分析、政策提言。
- N電気が、データ連携等のインフラを担当。
- 2014年からの10年以上継続プロジェクト。

岩手県立大学：地域協働研究事業

- 地方自治体を対象に、大学の教員と連携して、地域の課題分析や解決をする研究課題に助成。
- 厳格な審査や中間評価等も行い、研究成果は大学の機関リポジトリにて公開。
- 地方自治体の課題提案への助言も行う。自治体によっては新たな予算獲得前の調査に利用。
- 2012年からの10年以上継続プロジェクト

はこだて未来大学：学内部局横断的教育・研究

- Open space, open mindを標語に、開放的なキャンパス空間で、部局横断的連携が進む。
- 学生は、学部3年生必修の部局横断的なプロジェクト研究で、問題解決力、協働力、プレゼン力等を身につけ、就職力高い。
- 学内研究助成も部局連携を条件とし、問題解決型の研究と学内ポスターセッション等が進む。

滋賀大学データサイエンス学部

- 国内で一番初めに設置されたデータサイエンス学部。
- 企業との連携による教育・研究を実現し、修士課程の学生の4割は社会人学生。
- 「データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター」では、企業や行政と連携して実社会での価値創造を行う。

研究データの
機関管理・公開のための
体制整備

大学としての
研究データの
利活用へ

オープンサイエンス推進の目的を大学として、どのように位置づけるか？

Ⅱ．学術機関における研究データ管理の導入目的の実際

a. 機関内学術成果の発信と社会連携による「開かれた学術」の実現
b. 研究広報と外部連携促進による学術機関の認知度向上
c. 機関内研究者向け研究インフラの整備による学術機関の研究力強化
d. 研究データ公開による研究助成機関や国際学術雑誌からの要請への対応
e. 学術研究成果の根拠データの保存・管理による研究データ10年保存ルールへの対応
f. 研究証跡の保存・管理による研究者の保護と機関のコンプライアンス強化
g. 研究データの長期保全と利用提供による学術の継承
h. 研究データの教育利用による学生のデータスキルの向上

AXIES「学術機関における研究データ管理に関する提言」2019より
https://axies.jp/report/publications/proposal/

学術機関における研究データ管理に関する提言（AXIES）2019年5月

- 本文
- 付属文書

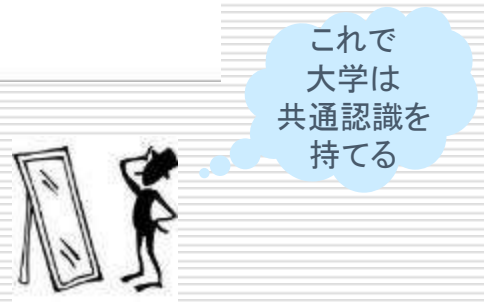
（目的・効果）

I. 研究データ管理における学術機関の役割
II. 学術機関における研究データ管理の導入目的の実際
III. 学術機関が管理・提供する研究データと利活用の場面

（方法・機能・維持管理）

IV. 学術機関における研究データ管理を成り立たせる条件
V. 学術機関における研究データ管理のための仕組み
VI. 研究データ管理のためのデジタルプラットフォームの機能要件
VII. 研究データ管理のための人材育成

- 用語解説
- 参考文献



https://axies.jp/report/publications/proposal/

「国立情報学研究所研究データ管理・公開ポリシー（試行版）」全国雛形の公開

- NIIオープンサイエンス基盤研究センター（RCOS）ウェブサイトにて公開
- 公開URL：https://rcos.nii.ac.jp/service/datapolicy/

ROISとNIIの研究データポリシー

- 情報・システム研究機構（ROIS）
  - 研究データ管理・公開ポリシー（基本方針）
  - 令和7年3月4日
  - https://www.rois.ac.jp/pdf/6-15.pdf

- 国立情報学研究所（NII）
  - 研究データポリシー（実施方針）
  - 令和7年3月21日
  - https://www.nii.ac.jp/about/upload/nii_data_policy_20250401.pdf